2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	株式会社エスケーエレクトロニクス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6677	URL	https://www.sk-el.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	石田　昌徳
問合せ先責任者	（役職名） 取締役	（氏名）	向田　泰久　　TEL　075-441-2333
定時株主総会開催予定日	2026年12月18日	配当支払開始予定日	2026年12月21日
有価証券報告書提出予定日	2026年12月15日		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	27,862	△4.5	5,809	△18.9	4,033	4.7	4,397	14.3	3,069	12.4
2025年９月期	29,187	13.4	7,163	21.4	3,854	26.0	3,846	25.8	2,731	19.2

（注）包括利益　　2026年９月期　4,109百万円（　15.1%）　　2025年９月期　3,570百万円（　58.9%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	295.36	―	8.5	10.0	14.5
2025年９月期	263.00	―	8.2	9.4	13.2

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　―百万円　　2025年９月期　―百万円

（注）EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額としています。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	45,586	37,360	82.0	3,593.41
2025年９月期	42,519	34,590	81.4	3,331.11

（参考）自己資本　　2026年９月期　37,360百万円　　2025年９月期　34,590百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	5,001	△4,002	△1,395	9,393
2025年９月期	5,133	△6,141	△1,968	9,684

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	130.00	130.00	1,368	50.1	4.1
2026年９月期	―	0.00	―	152.00	152.00	1,600	52.1	4.4
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	121.00	121.00		50.4	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	14,700	2.4	2,800	△12.4	1,820	△22.7	1,820	△31.9	1,300	△29.3	125.04
通　期	30,200	8.4	5,760	△0.9	3,590	△11.0	3,580	△18.6	2,530	△17.6	243.34

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	11,368,400株	2025年９月期	11,368,400株
②　期末自己株式数	2026年９月期	971,493株	2025年９月期	984,193株
③　期中平均株式数	2026年９月期	10,392,390株	2025年９月期	10,384,226株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております。

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	19,004	△8.2	3,212	△25.6	2,041	△4.3	3,676	41.2	2,796	45.7
2025年９月期	20,710	7.0	4,318	20.4	2,133	△3.8	2,604	△30.4	1,919	△34.8

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円　銭	円　銭
2026年９月期	269.11	―
2025年９月期	184.82	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	37,538	31,419	83.7	3,022.00
2025年９月期	34,982	29,108	83.2	2,803.11

（参考）自己資本　　2026年９月期　31,419百万円　　2025年９月期　29,108百万円

２．2027年９月期の個別業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	10,170	4.6	1,680	△3.7	1,000	△16.8	1,030	△61.9	700	△67.2	67.33
通　期	21,060	10.8	3,660	13.9	2,260	10.7	2,320	△36.9	1,560	△44.2	150.04

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（会計上の見積りの変更） …… 12
（セグメント情報等） …… 13
（１株当たり情報） …… 14
（重要な後発事象） …… 14
４．補足情報 …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、長期化する地政学リスクなどを背景とした原材料価格の高止まりに加え、米国の通商政策や関税措置、日米欧の金融市場の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、フラットパネルディスプレー業界におきましては、中国の『消費財買い替え推進政策』やサッカーワールドカップに向けたテレビの買い替え需要が一服したことから、液晶パネル価格は緩やかに下落しました。ノートパソコン、タブレットなどのＩＴ製品向けでは、ＯＳのサポート終了やＡＩ搭載パソコンの普及、また車載パネル向けでは、採用箇所の増加や大型化を背景に、高精細化・高機能化に対応した液晶パネルの開発が継続して行われました。一方、有機ＥＬパネルについては、新たな第８世代パネル工場の量産開始が発表されるなど供給体制の整備が進む中、スマートフォン市場は弱含みで推移し、スマートフォン向け有機ＥＬパネルの出荷数量が減少するなど、パネル開発が慎重となる動きがみられました。

このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの売上高につきましては、278億62百万円（前期比4.5%減）となりました。利益につきましては、営業利益40億33百万円（前期比4.7%増）、経常利益43億97百万円（前期比14.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億69百万円（前期比12.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、売上高はセグメント間取引の相殺消去後の数値を記載しております。

（大型フォトマスク事業）

大型フォトマスク事業においては、中国市場ではスマートフォン向け有機ＥＬパネル用のフォトマスク需要が減少し、日本市場においても前連結会計年度に好調であったＶＲデバイス向け液晶パネル用の需要が低調に推移しました。

	2025年９月期 連結会計年度	2026年９月期 連結会計年度	増減率
売上高	28,776百万円	26,909百万円	△6.5%
営業利益	4,198百万円	4,268百万円	＋1.7%

（ソリューション事業）

ソリューション事業においては、ＲＦＩＤ分野では「電子ペーパータグ」、ヘルスケア分野では「デジタルコルポスコープＱ－ＣＯ」の売上が増加しました。

	2025年９月期 連結会計年度	2026年９月期 連結会計年度	増減率
売上高	84百万円	118百万円	＋40.6%
営業利益	△280百万円	△298百万円	―

（スクリーンマスク・メタルマスク事業）

2025年５月に連結子会社化したアサヒテック株式会社の数値となります。当事業における主要製品は、スクリーンマスクおよびメタルマスクです。スクリーンマスクは、車載ガラスや電子部品の印刷工程に、メタルマスクは、半導体パッケージなどの製造におけるはんだペーストの印刷工程などに使用される、高精度な製造用原版です。なお、前連結会計年度とは対象期間が異なるため、増減率の記載は省略しています。

	2025年９月期 連結会計年度	2026年９月期 連結会計年度	増減率
売上高	326百万円	834百万円	―
営業利益	18百万円	63百万円	―

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて30億67百万円増加し455億86百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、有形固定資産や投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて２億98百万円増加し82億26百万円となりました。これは主に、電子記録債務や支払手形及び買掛金が減少した一方で、流動負債のその他に含まれる設備関係電子記録債務、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて27億69百万円増加し373億60百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ２億91百万円減少し、93億93百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果増加した資金は、50億１百万円(前期は51億33百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益43億61百万円、減価償却費17億55百万円、売上債権の減少額15億円、仕入債務の減少額12億20百万円、法人税等の支払額11億47百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果減少した資金は、40億２百万円(前期は61億41百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32億96百万円、定期預金の預入による支出６億77百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果減少した資金は、13億95百万円(前期は19億68百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額13億68百万円によるものであります。

（４）今後の見通し

当社を取り巻く事業環境は、フラットパネルディスプレー業界におきましては、メモリ価格の高騰に伴いパネル開発機種数は抑制される見込みで、足元のフォトマスク需要は弱含むことが予想されています。一方で、フォルダブルやプライバシーモードなどの新しい有機ＥＬ技術の進展や、フォトリソやインクジェット方式を採用した第８世代有機ＥＬ工場の稼働開始により、大型パネルの生産効率向上が進んでいます。これらにより、有機ＥＬパネル用フォトマスクは、新技術に対応したマスク使用枚数の増加や高付加価値マスクの需要拡大が期待されるほか、新たな有機ＥＬパネル工場向けのＩＴ製品需要も拡大していく見通しです。

翌連結会計年度の連結業績予想につきましては、売上高302億円（前期比8.4％増）、営業利益35億90百万円（前期比11.0％減）、経常利益35億80百万円（前期比18.6％減）、親会社株主に帰属する当期純利益25億30百万円（前期比17.6％減）を見込んでおります。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考え、経営基盤の強化を図りつつ、積極的に成長分野への投資を行うことで、継続的な企業価値の向上と株主の皆様への安定的かつ継続的な利益配分を実現することを基本方針としています。配当につきましては、当社の財政状態、中長期的な成長投資計画等を勘案した上で、連結配当性向50%を目指してまいります。加えて、2027年９月期以降の３年間につきましては、成長投資と一時的な業績変動に左右されない安定的な株主還元を両立するため、2027年９月期の配当１株当たり121円を起点とする「累進配当」を導入し、１株当たり配当額の維持または増大を目指します。

当期の期末配当金につきましては、業績は当初見込みを若干下回りましたが、昨年11月に株主の皆様にお伝えしていた配当見込み額通りの、１株当たり152円の配当とさせていただきます。

また、次期の剰余金の配当につきましては、上記基本方針に基づき、１株当たり121円を予定しております。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用して連結財務諸表を作成しており、また当面の間、変更の予定はありません。なお、ＩＦＲＳの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,684,641	10,064,171
受取手形及び売掛金	8,638,526	7,274,658
電子記録債権	100,570	8,473
商品及び製品	237,953	271,130
仕掛品	272,629	319,646
原材料及び貯蔵品	3,811,245	4,406,851
その他	1,807,569	1,700,920
貸倒引当金	△2,062	△1,443
流動資産合計	24,551,072	24,044,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,300,688	3,212,071
機械装置及び運搬具（純額）	9,221,408	11,447,191
土地	1,905,402	1,905,402
建設仮勘定	861,872	1,135,061
その他（純額）	383,633	413,780
有形固定資産合計	15,673,005	18,113,507
無形固定資産		
のれん	194,390	174,105
ソフトウエア	136,270	92,469
その他	101,490	101,134
無形固定資産合計	432,150	367,710
投資その他の資産		
投資有価証券	1,468,041	2,649,005
繰延税金資産	21,273	20,348
その他	375,534	403,755
貸倒引当金	△1,800	△11,800
投資その他の資産合計	1,863,049	3,061,309
固定資産合計	17,968,206	21,542,527
資産合計	42,519,278	45,586,937

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,816,578	2,220,166
電子記録債務	1,735,992	1,127,893
未払法人税等	522,874	760,229
役員賞与引当金	51,366	60,944
その他	2,071,037	3,042,841
流動負債合計	7,197,849	7,212,075
固定負債		
繰延税金負債	249,520	555,475
役員株式給付引当金	179,080	183,939
その他	301,902	275,136
固定負債合計	730,503	1,014,551
負債合計	7,928,352	8,226,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,277,483	4,277,483
利益剰余金	23,524,064	25,224,560
自己株式	△1,185,999	△1,157,345
株主資本合計	30,725,270	32,454,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,065	1,584,415
為替換算調整勘定	3,107,959	3,293,129
繰延ヘッジ損益	2,630	28,345
その他の包括利益累計額合計	3,865,655	4,905,889
純資産合計	34,590,925	37,360,310
負債純資産合計	42,519,278	45,586,937

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	29,187,200	27,862,321
売上原価	22,270,730	20,584,452
売上総利益	6,916,469	7,277,868
販売費及び一般管理費	3,062,289	3,244,198
営業利益	3,854,180	4,033,670
営業外収益		
受取利息	29,194	46,250
受取配当金	26,735	26,270
不動産賃貸料	34,213	33,918
為替差益	―	270,945
その他	72,206	21,966
営業外収益合計	162,349	399,351
営業外費用		
支払利息	6,940	3,287
不動産賃貸原価	9,757	11,801
支払手数料	116,425	8,832
関係会社貸倒引当金繰入額	―	10,000
為替差損	36,842	―
その他	495	1,147
営業外費用合計	170,462	35,069
経常利益	3,846,067	4,397,952
特別損失		
固定資産除却損	1,665	8,103
関係会社株式評価損	―	28,000
特別損失合計	1,665	36,103
税金等調整前当期純利益	3,844,402	4,361,848
法人税、住民税及び事業税	944,377	1,376,706
法人税等調整額	168,982	△84,333
法人税等合計	1,113,360	1,292,373
当期純利益	2,731,041	3,069,475
親会社株主に帰属する当期純利益	2,731,041	3,069,475

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益	2,731,041	3,069,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188,337	829,349
為替換算調整勘定	648,751	185,169
繰延ヘッジ損益	2,630	25,714
その他の包括利益合計	839,719	1,040,233
包括利益	3,570,761	4,109,709
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	3,570,761	4,109,709

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年10月１日 至 2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,109,722	4,277,483	21,940,860	△1,185,939	29,142,127
当期変動額					
剰余金の配当			△1,147,838		△1,147,838
親会社株主に帰属する当期純利益			2,731,041		2,731,041
自己株式の取得				△60	△60
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	1,583,203	△60	1,583,142
当期末残高	4,109,722	4,277,483	23,524,064	△1,185,999	30,725,270

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	566,727	2,459,208	－	3,025,936	32,168,063
当期変動額					
剰余金の配当					△1,147,838
親会社株主に帰属する当期純利益					2,731,041
自己株式の取得					△60
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	188,337	648,751	2,630	839,719	839,719
当期変動額合計	188,337	648,751	2,630	839,719	2,422,862
当期末残高	755,065	3,107,959	2,630	3,865,655	34,590,925

当連結会計年度(自 2025年10月１日 至 2026年９月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,109,722	4,277,483	23,524,064	△1,185,999	30,725,270
当期変動額					
剰余金の配当			△1,368,978		△1,368,978
親会社株主に帰属する当期純利益			3,069,475		3,069,475
自己株式の処分				28,653	28,653
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	1,700,496	28,653	1,729,150
当期末残高	4,109,722	4,277,483	25,224,560	△1,157,345	32,454,420

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	755,065	3,107,959	2,630	3,865,655	34,590,925
当期変動額					
剰余金の配当					△1,368,978
親会社株主に帰属する当期純利益					3,069,475
自己株式の処分					28,653
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	829,349	185,169	25,714	1,040,233	1,040,233
当期変動額合計	829,349	185,169	25,714	1,040,233	2,769,384
当期末残高	1,584,415	3,293,129	28,345	4,905,889	37,360,310

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,844,402	4,361,848
減価償却費	3,301,234	1,755,757
のれん償却額	8,451	20,284
貸倒引当金の増減額（△は減少）	109	9,380
関係会社株式評価損	―	28,000
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	9,593	9,578
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	28,615	4,859
受取利息及び受取配当金	△55,929	△72,520
支払利息	6,940	3,287
固定資産除却損	1,665	8,103
売上債権の増減額（△は増加）	△1,780,100	1,500,347
棚卸資産の増減額（△は増加）	270,702	△659,093
仕入債務の増減額（△は減少）	722,008	△1,220,251
その他	△619,446	231,408
小計	5,738,247	5,980,990
利息及び配当金の受取額	51,327	72,325
利息の支払額	△6,864	△3,205
法人税等の支払額	△650,137	△1,147,386
法人税等の還付額	675	98,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,133,249	5,001,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,915,979	△3,296,170
無形固定資産の取得による支出	△21,730	△18,123
定期預金の預入による支出	―	△677,953
有価証券の取得による支出	△1,996,690	―
有価証券の償還による収入	2,000,000	―
投資有価証券の取得による支出	△29,970	―
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,148,676	―
関係会社株式の取得による支出	△29,300	―
その他	1,260	△9,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,141,086	△4,002,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△800,000	―
リース債務の返済による支出	△20,117	△26,491
配当金の支払額	△1,147,838	△1,368,978
自己株式の取得による支出	△60	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,968,016	△1,395,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	177,888	104,784
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,797,966	△291,427
現金及び現金同等物の期首残高	12,482,607	9,684,641
現金及び現金同等物の期末残高	9,684,641	9,393,213

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来は耐用年数を５年として減価償却を行ってまいりました。しかしながら、装置性能の向上に加え、フラットパネルディスプレー市場における高精細化・高機能化が一定の水準に達していることを背景に、今後の技術革新の速度は緩やかになると当期において判断いたしました。これを踏まえ、当該機械装置の稼働状況を検討した結果、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間の乖離が生じることから、当連結会計年度の期首より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ1,957,545千円増加しております。

(セグメント情報等)

1　報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「大型フォトマスク事業」「ソリューション事業」「スクリーンマスク・メタルマスク事業」の３つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

大型フォトマスク事業は、大型フォトマスクの設計、製造及び販売をしております。

ソリューション事業は、主にＲＦＩＤ関連機器、医療機器の開発、製造及び販売をしております。

スクリーンマスク・メタルマスク事業は、スクリーンマスク・メタルマスクの製造及び販売をしております。

2　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(耐用年数の変更)

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来、耐用年数を５年として減価償却を行ってきましたが、当連結会計年度の期首より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、大型フォトマスク事業の当連結会計年度のセグメント利益は1,957,545千円増加しております。

3　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	大型フォトマスク事業	ソリューション事業	スクリーンマスク・メタルマスク事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,776,572	84,354	326,273	29,187,200	―	29,187,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	1,811	―	1,811	△1,811	―
計	28,776,572	86,166	326,273	29,189,011	△1,811	29,187,200
セグメント利益又は損失（△）	4,198,052	△280,422	18,253	3,935,883	△81,702	3,854,180
その他の項目						
減価償却費	3,271,030	8,278	21,925	3,301,234	―	3,301,234

(注)１　セグメント利益又は損失の調整額は、子会社株式の取得関連費用であります。

２　セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３　セグメント資産は、報告セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額（注）１
	大型フォトマスク事業	ソリューション事業	スクリーンマスク・メタルマスク事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,909,620	118,586	834,114	27,862,321	―	27,862,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	858	―	858	△858	―
計	26,909,620	119,444	834,114	27,863,179	△858	27,862,321
セグメント利益又は損失（△）	4,268,788	△298,316	63,198	4,033,670	―	4,033,670
その他の項目						
減価償却費	1,695,330	7,286	53,140	1,755,757	―	1,755,757

(注)１　セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　セグメント資産は、報告セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）	当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	3,331円11銭	3,593円41銭
１株当たり当期純利益	263円00銭	295円36銭

（注）１　潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２　１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度（2025年９月30日）	当連結会計年度（2026年９月30日）
純資産の部の合計額　（千円）	34,590,925	37,360,310
純資産の部の合計額から控除する金額　（千円）	―	―
普通株式に係る期末の純資産額　（千円）	34,590,925	37,360,310
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数　（株）	10,384,207	10,396,907

３　１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）	当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）
親会社株主に帰属する当期純利益　（千円）	2,731,041	3,069,475
普通株主に帰属しない金額　（千円）	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益　（千円）	2,731,041	3,069,475
普通株式の期中平均株式数　（株）	10,384,226	10,392,390

４　株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する当社株式は、１株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております（前連結会計年度146,400株、当連結会計年度133,700株）。また、１株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度146,400株、当連結会計年度138,217株）。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．補足情報

販売の状況

主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）		当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
京東方科技集団股份有限公司	5,955,138	20.4	5,568,997	20.0
日本サムスン㈱	4,599,504	15.8	4,558,157	16.4
ＴＣＬ華星光電技術有限公司	5,742,033	19.7	4,162,038	14.9
Innolux Corporation	―	―	3,682,894	13.2
天馬微電子股份有限公司	3,908,732	13.4	3,423,310	12.3

(注) 当該割合が100分の10未満である相手先別の販売実績につきましては、記載を省略しております。